

山口情報芸術センター [YCAM] 公演

石若駿 + YCAM 新作パフォーマンス公演

Echoes for unknown egos — 発現しあう響きたち

2022年6月4日(土) 19:00開演、5日(日) 14:00開演 各日30分前集合

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオA

稀代の打楽器奏者による音楽表現の拡張

人工知能 (AI) を通じて、石若駿の音楽性を再発見する

山口情報芸術センター [YCAM] では、打楽器奏者の石若駿とYCAMとのコラボレーションによる新作パフォーマンス「Echoes for unknown egos (エコーズ・フォー・アンノウン・イゴス) — 発現しあう響きたち」を発表する公演をおこないます。

石若は、ジャズと現代音楽をバックグラウンドに、ロック、ヒップホップ、ポップスなどジャンルを越えて国内外で活躍する、気鋭の打楽器奏者です。

石若が自身と共演するというアイデアから出発した本作では、オリジナルの打楽器や石若のパフォーマンスを学習し自律的に演奏をおこなう人工知能 (AI) などの「共演者」たちが登場します。石若はこれらの共演者とともに即興のセッションを繰り広げます。また初日のソロ公演を経て、2日目はさらに石若の盟友であるサクソ奏者・松丸契が参加。パフォーマンスに多面性を与えます。

メディアテクノロジーを応用しながら、石若の音楽性を再発見していくプロセスを共有する本作を通じて、未だ聞いたことのない新しい音楽を発見するとともに、人間の創造性のありかについて示唆を得る機会となるでしょう。この機会にぜひご参加ください。



石若駿
photo by kana tarumi

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

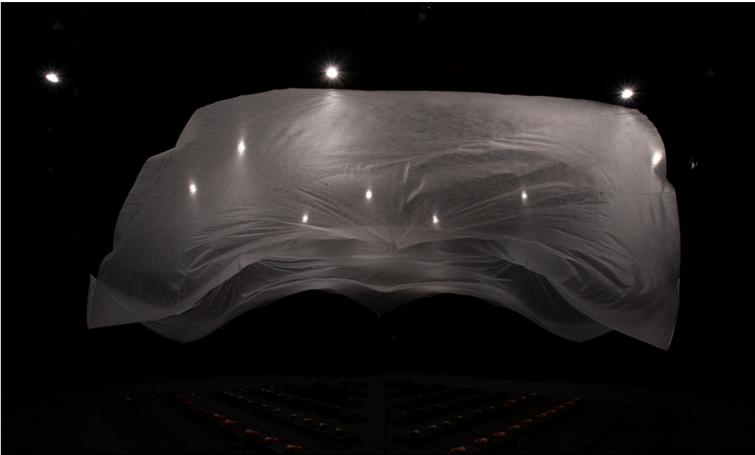
山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

新たな表現をメディアテクノロジーとともに追求してきたYCAM



細井美裕+石若駿+YCAMコンサートピース『Sound Mine』(2019年)
撮影：谷康弘

YCAMでは、これまで内橋和久、大友良英、渋谷慶一郎、イスラエル・ガルバンといった第一線で活躍するアーティスト/パフォーマーを迎え、メディアテクノロジーとの関わりの中から生まれる新たな表現を探求すべく、ライブや展示といった枠組みを超えて、実験的な試みを続けてきました。

今回、YCAMとのコラボレーションのもと、新作を発表する石若駿は、自身のプロジェクト Answer to Remember、SMTK、Songbook Trioを率いつつ、くるり、CRCK/LCKS、Kid Fresino、君島大空、Millennium Paradeなどのライブ、アルバムへの参加や、映画やドラマ音楽の作曲と、ジャンル横断的に活躍し、国内外で高い評価を受ける打楽器奏者です。

石若とYCAMは、2019年に発表した細井美裕+石若駿+YCAMによるコンサートピース「Sound Mine」で初のコラボレーションをおこないました。山口県内の特色ある響きを持つ空間をリサーチしながらその特性を記録し、ライブの演奏に掛け合わせる同作の制作をきっかけに、石若は自身のパフォーマンスにメディアテクノロジーを積極的に取り入れることを考え始め、その結果、人工知能(AI)で部分的に再現された自分自身との共演、そして、そこから自身のドラムソロを振り返る、というアイデアが生まれました。

「Sound Mine」から約3年、石若の打楽器に対する想いや独自の音楽性に密着し、YCAMとAI研究者たちとの約1年半にわたる共同研究開発をもとに制作した新作パフォーマンス「Echoes for unknown egos — 発現しあう響きたち」を発表します。

■ 石若駿 (いしわか・しゅん)

打楽器奏者。1992年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。リーダープロジェクトとして、Answer to Remember、SMTK、Songbook Trioを率いる傍ら、くるり、CRCK/LCKS、KID FRESINO、君島大空、millennium paradeなど数多くのライブ、作品に参加。近年の活動に回遊型パフォーマンス「石若駿×浅井信好ライブセッション」。映画『建築と時間と妹島和世』、NHKオーディオドラマ『屋上の侵入者』、さらには山本製作所「OU-オウ」、フィガロジャパン「虹の刻 第15章」、『LOEWE FW21 | 「幸せ」の探索』、NIKE『Jordan - Tokyo Fearless Ones』といったプロモーションムービーの音楽を手掛ける。2022年NHKドラマ「エンディングカット」の音楽を小田朋美との共作で担当。海外アーティストとの共演も多く、Kurt Rosenwinkel、Jason Moranなどの来日公演に参加。YCAMでは2019年に細井美裕+石若駿+YCAM新作コンサートピース「Sound Mine」を発表。

■ Sound Mine (サウンド・マイン)

2019年に発表された細井美裕、石若駿、そしてYCAMのコラボレーションによるコンサートピース。

YCAMの館内をはじめ、山口県内でユニークな残響が起こる建築物や自然空間で響きの特性を採取。それに基づいて観客に様々な記憶を喚起させる音の風景を構築した。一般的なコンサートとは異なり、観客はヘッドフォンを装着し、上述の音の風景の中を移動するかのような体験をする。

まだ見ぬ「自分」を発見しながら音楽を拡張する



石若駿のYCAMでの滞在制作中の様子（2021年11月）
撮影：ヨシガカズマ

今回発表する新作パフォーマンス「Echoes for unknown egos — 発現しあう響きたち」の根幹的なアイデアである「自分自身との共演」の背景にあるのは、2020年に実施した「Disco 3000 Vol.02_1+2 Layer Shun Ishiwaka extended technique」（企画：SONG X JAZZ / 会場：blkswn welfare centre）です。ここで石若は、演奏時間だけを決め、即興演奏を実施。そこから時間を空け、記憶を頼りに2回目の演奏を実施し、その2つの記録映像を重ねて公開しました。多種多様な演奏家とのセッションを経験し、そのたびに自分の音楽性を柔軟に変化させてきた石若ですが、ほかでもない自分とのセッションに大いに触発されたといいます。

本作では、こうした経験を下敷きに、石若の演奏に耳をそばだて、多様かつ繊細な音の表現を可能にする人工知能をはじめとする「エージェント（代行者）」を開発。石若駿のドラムソロに基づいて、エージェントたちが音を鳴り響かせます。演奏を通じたエージェントとのコミュニケーションは、新しい演奏のアイデアを石若に与え、音から音楽に発展する要素、共演者とのつながりなど、石若の音楽性の核心的部分を改めて再発見していくプロセスを作り出します。初日のソロ公演を経て、2日目はさらに石若の盟友であるサクソ奏者・松丸契が参加。パフォーマンスに多面性を与えます。

本作のタイトルにある「egos」はエージェントたちを意味しつつも、エージェントとの共演を通して発見されるであろう、未知の音との出会いを暗示しています。つまり本作は「さまざまな石若」を生み出す試みともいえるでしょう。

■ 松丸契（まつまる・けい）



サクソ奏者。パプアニューギニア出身。ほぼ独学で楽器を習得し、2014年にバークリー音楽大学へ全額奨学金で入学、2018年に同大学を首席で卒業。同年日本へ帰国、以来東京近辺を中心に様々なアーティストと共演を重ねる。2020年にバンドSMTK（石若駿・マーティホロベック・細井徳太郎・松丸契）で『SMTK』『SUPER MAGIC TOKYO KARMA』、自身名義による1stアルバム『Nothing Unspoken Under the Sun』を発表。2021年にSMTK『SIREN PROPAGANDA』、m'fe『不_? 黎^pyro 明// 乱 (I'fe / de^th)』（高橋佑成・落合康介・松丸契）をリリース。2020年より90分の即興演奏を通して空間と時間と楽器と身体の関係性を探る「独奏」を活動の一環として開始。バンドメンバー以外での近頃の共演者(敬称略): 大友良英、芳垣安洋、内橋和久、Dos Monos、浦上想起、山本達久、石橋英子、ジム・オルーク、須川崇志、スガダイローなど

開催概要

石若駿+ YCAM新作パフォーマンス公演

Echoes for unknown egos — 発現しあう響きたち

2022年6月4日(土) 19:00開演、5日(日) 14:00開演

各日30分前集合 ※要チケット購入(右欄参照)

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオA

出演:石若駿(両日とも)、松丸契(6月5日のみ)

※各日公演内容が異なります

主催:公益財団法人山口市文化振興財団

後援:山口市、山口市教育委員会

技術協力:ローランド株式会社

協力:野中貿易株式会社、慶應義塾大学徳井直生研究室/株式会社Qosmo

Shun Ishiwaka plays Bonney drum japan, Istanbul Agop Cymbals

共同開発:YCAM InterLab

企画制作:山口情報芸術センター [YCAM]

公演終了後イベント

ポストパフォーマンストーク

6月4日(土)終演後 ※要公演チケット

登壇:石若駿、時里充(YCAM)、安藤充人(YCAM)、野原恵祐、小林篤実

関連イベント

石若駿+ YCAM新作インスタレーション

Echoes for unknown egos with cymbals

倍音などシンバルのもつ多様な音の要素から触発され、シンバル同士が空間と響き合うことで、音の風景を描くインスタレーションです。

2022年4月29日(金・祝)～6月12日(日) 10:00～19:00

※6月3日(金)～5日(日)は公開時間を変更します

会場:ホワイエ 入場無料

バックステージツアー

作品制作の舞台裏を石若によるデモンストレーションを交えてご紹介します。

5月21日(土)15:00～16:30

会場:スタジオA 参加無料(要申込/先着順)

定員:20名 ※未就学児参加不可

※申込方法はYCAMのウェブサイトをご覧ください

関連映画上映

石若がサウンドトラックを手掛けた映画「建築と時間と妹島和世」(監督:ホンマタカシ)の上映です。

5月20日(金)～22日(日)

会場:スタジオC 料金:有料

※上映時間や料金はYCAMのウェブサイトをご覧ください

※5月21日(土)には、ホンマタカシと石若駿によるトークイベントも開催

■ チケット情報

発売日:

any会員先行予約 4月2日(土) 10:00

一般 4月9日(土) 10:00

チケット料金 [全席自由]:

前売

一般:2,500円

any会員 / 特別割引 / 25歳以下:2,000円

高校生以下:300円(要証明書)

2日間セット券:4,500円

当日

一般:3,000円

高校生以下:300円(要証明書)

※前売り完売の際は、当日券の販売がない場合がございます。

※特別割引:シニア(65歳以上)、障がいを持つ方及び同行の介護者1名が対象

※未就学児入場不可

※車イス席は事前にお問い合わせください

電話/窓口

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00～19:00

※毎週火曜、4月28日、5月6日休館(5月3日は開館)

インターネット

www.ycfcp.or.jp

24時間受付

託児サービス

5月28日(土)までにチケットインフォメーションまでお申込(有料)